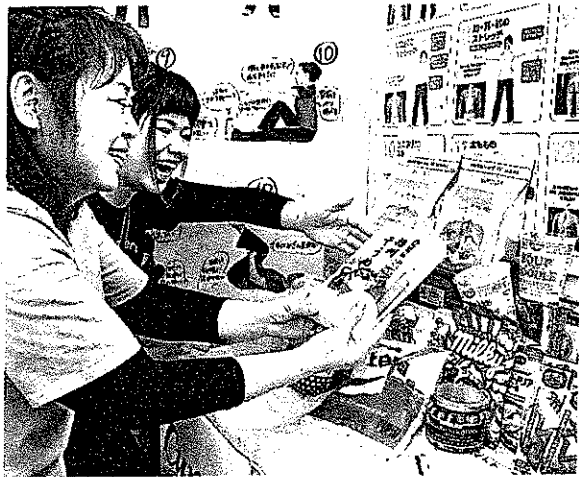


家に眠る食品 寄付で生かす

「フードドライブ」広がる窓口



お中元のそうめんを持参した社厚子さん(手前)＝大阪市住吉区

生活が厳しい家庭に届けるため、家庭で食べきれない食品を持ち寄る「フードドライブ」。集められた食品を管理し、届けるフードバンク団体や企業の活動が活発になったことで、スポーツジム、寺や自治体の窓口など、身近な場所に広がっています。

ジムで20ト受け付け

1月中旬、大阪市住吉区のスポーツジム「カーブス」に、会員で近所に住む主婦社厚子さん(64)は、お中元のそうめんを持ってきた。
「いつも持っているけれども便利」社さんが食品を持ち寄るようになったのは3年前。3人の子ともたちが社会人になり、そうめん、スープの缶詰、レトルト食品など、つつい買いだめして食べきれない食品をそのままは捨てていた。「子ども食堂を手伝いたいと思っているけどハードルが高くて……。でもこれなら参加しやすかった」と話す。

フードドライブは、1960年代に米国で始まり企業や学校で定着している。受け付けるのは、賞味期限内で、基本的に常温で保存できる食品。
女性限定のスポーツジム「カーブス」は、本拠地の米国で99年にフードドライブを始めた。日本では、2007年11月に始め、今年で10回目。期間を1カ月と定め、全国の会員と会員以外にも参加を呼びかけてきた。
参加人数は、初回は約2万8千人だ

そうめんや缶詰 困窮世帯へ橋渡し

ったが、昨年は約17万人に。寄せられた食品も、約50トから約240トに増えた。

2回目までは11月に実施していたが、「お歳暮や年末年始が終わった後の方が便利」との利用者の声を受け、3回目から年明けにした。

集められた食品は、児童養護施設や、地域のひとり親を支援する民間に届けられる。

貧困やDV被害などを理由に入所する母子を支援する母子生活支援施設「東さくら園」(大阪市)では、6年前から食品の提供を受け、職員が退所者や地域の困窮した世帯に届けてきた。

ある高校生は、母と二人暮らし。パートで働く母の給料日前は、いつも職員にSOSを出し、米やレトルト食品をもらいに来る。廣瀬みどり施設長(69)は「この寄付がなければ、あの子は育たなかった。まさに、命をつなぐ食料です」と話す。

寺のお供えもの譲る

寺へのお供えものを、ひとり親家庭におすそわけする活動も広がっている。

13年秋に、奈良県の安養寺の松島(住職)が始めた「おてらおやつクラブ」。きっかけは、同年5月に大阪市で母子が孤独死した事件。「おなかいっぱい食べさせられなくて、ごめんね」と母親が残したメモが心に刺さった。ネットで協力を呼びかけ、今では全国540の寺が賛同。事務局が、寺と、子ども食堂やひとり親家庭を支援するNPOなどの間を取り持つ。

提供頻度は寺に任せている。一般からの寄付も受ける。「おてらおやつクラブ」の桂澤事務局長(69)は「困窮

する子どもに何かしたいという気持ちにゆえ、無理なく気軽に続けられるのが広がっていると思う」と話す。

自治体との連携進む

従来のフードバンクは、食品を独自に集め、困窮家庭や福祉施設に届ける活動が大半だったが、最近では自治体と連携して集める団体も増えている。

NPO法人「フードバンクとくしま」(徳島市)では、徳島県と連携し、昨年11月に県庁などに食品を持ち寄るかごを常設した。これまでに約100トが寄せられた。

15年4月施行の生活困窮者自立支援法で、自治体に支援窓口の設置が義務化されたのを機に連携が進んだ。同様の取り組みは、茨城県、岩手県などでも広がっている。

静岡市のNPO法人「フードバンクふじのくに」は、島田市など5自治体とスーパー53店舗でフードドライブのかごを常設する。臨時で毎年冬と夏にもフードドライブを実施。公民館や学校、スーパーなど171カ所が参加する。課題は回収スタッフの確保だ。二

ーは高いが、集めて配るボランティアが追いついていないのが課題」と鈴木和樹事務局長次長(35)は指摘する。
NPO法人「フードバンク山梨」(南アルプス市)では、昨夏から大学や高校17校と連携して集めている。

農水省によると、家庭に眠って廃棄される食品は、13年度は302万ト。事業額の330万トとほぼ変わらない。

米山けい子理事長(63)は「学校は親と子両方の意識に働きかけられる。活動を知ってもらおうきっかけを増やしていきたい」と話している。(山内深砂子)

■フードドライブの問い合わせ先

「カーブス」

全国約1700店舗で、2月15日まで。賞味期限が5月1日以降の常温で保存可能な食品に限る。連絡先は、0120・441・029(平日午前10時～午後6時)。

「おてらおやつクラブ」

<http://otera-oyatsu.club/>
おやつ提供に協力する寺や個人、希望する団体や家庭を募っている。「全国フードバンク推進協議会」
<http://www.fb-kyougikai.net/>
15年11月に設立。19団体。毎年、全国フードドライブキャンペーンを実施している。

「セカンドハーベスト・ジャパン」

<https://www.2hj.org/>
02年に設立。定期的なフードドライブに加えて、宅配便での食品も受け付けている。受け付けは平日のみ。送料は送り主が負担。〒111-0053 東京都台東区浅草橋4の5の1水田ビル1階。事務局(03・5822・5371)。

(※いずれも賞味期限内、未開封の食品に限る。冷蔵・冷凍品は事前に要相談)